

大崎町
松原王子曾於市
そお星人志布志市
志武士ししまる

令和6年度 曾於保護区保護司会

保護司たより

第13号

発行所：曾於保護区保護司会 事務局：志布志市松山町新橋268番地 ☎ (fax 兼用) 099-487-3280

人はみな、
生かされて
生きてゆく。

【保護司たより発行に寄せて】



曾於保護区保護司会
会長 上村裕治

新年明けましておめでとうございます。

曾於保護区管内にお住いの皆様には益々ご健勝のことと謹んでお慶び申し上げます。また平素より曾於保護区保護司会の活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り心から厚く感謝申し上げます。

私どもの曾於保護区保護司会では、毎年7月に実施される、法務省主唱の社会を明るくする運動強調月間にあわせ、『ふれあい交流グラウンドゴルフ大会』の主催や、小中学生を対象とした『社会を明るくする運動作文コンテスト』への協力、薬物乱用防止『ダメ・ゼッタイ』普及運動を行い、また年間を通して犯罪防止活動に関する広報活動も管内各所にて行っております。

さて、昨今の犯罪件数は全体的には微増ですが、曾於保護区管内においては、ここ数年横ばいという良いと思います。その全体的な犯罪件数に占める初犯件数はかなり減少していると聞きますが、再犯による事件件数の減少率が思わしくなく

といった状況です。

立ち直りを心に決め社会復帰したはずなのに、何故再び再犯をしてしまうのか？そこには「生きづらさ」があるのかもしれない。過去を悔い改め、更生を果たすには、本人の立ち直りたいという「強い意志」と、生活するうえでの「環境の改善」そして「就労」が必要だと思えます。保護観察対象者が更生を誓った時、社会での受け入れ体制が整うか否かが、その後を大きく左右すると思っております。曾於保護区管内にお住いの皆様方、より一層の「安全安心の明るい社会づくり」には地域の寄り添う力が大切です。

「犯罪に回らない 戻さない
立ち直りを支える 地域の力」

どうぞ引き続き暖かく見守っていただきまますようにお願いいたします。

また保護観察所では、刑終援助（刑を終えて出所した人やその家族に対する援助）、地域援助（犯罪や非行などに関する地域の方や関係機関等からの相談に応じる）を行っております。曾於保護区更生サポートセンターでは、このことへの取り次ぎのお手伝いも行っておりますのでご活用ください。

最後に、これからも曾於保護区保護司会に対しまして、倍旧のご理解とご支援をお願い申し上げます。

更生保護に御協力をいただいている A「曾於地区協力雇用主会」(29)社並びに B「就労支援事業者会員」(23)様

雇用主・事業所		A	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
---------	--	---	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

こうせい ほご
更生保護の担い手

～たくさんの人たちが
支援に関わっています～

立ち直ろうとする人たちに寄り添い・支えることによって再び犯罪によって被害が生じることを防ぎ、犯罪や非行のない社会をつくる活動を『更生保護』といいます。この活動には、地域のたくさんの人たちがボランティアとして関わっています。

P4に会員名簿掲載

保護司

立ち直りを一番近くで見守る

こちら

協力雇用主
『仕事』を通して
見守る

P4に関連記事
があります。

更生保護施設
社会復帰のための
住まいを提供

更生保護女性会
地域のことを
ほっとけない



曾於保護区保護司会活動

【曾於市支部活動の様子】

保護司会曾於市支部では『薬物乱用防止キャンペーン』の呼びかけとして八月に街頭

キャンペーンを実施し、『薬物依存』が薬物乱用の最大の怖さ

であることや、興味本位で手を出さず『断る勇氣』を持つこと

の大切さなどを伝えました。

十一月には『思いやりそお市民祭』に参加

して更生保護女性会と

連携して更生保護の広

報活動を続けて参りました。

生保護の広報活動を続けて参りました。



曾於市支部会員二十六名は、保護司法に定められた年四回の研修の他に自主的な研修を実施し、研鑽に励んでいます。本年度は更生保護施設『草牟田寮』と『鹿児島刑務所』を訪問し、施設内での環境を自分で感じて青少年に伝えることで、非行への抑止になれば幸いです。今後関係団体の皆さんと連携を図りながら『社会を明るくする運動』に取り組んで参ります。

【志布志支部研修視察に参加して】

有明地区長 篠原 治之

去る十月三十日、三十一日の両日に於いて志布志支部の研修視察（熊本自営会）及び『熊本刑務所』の施設訪問に参加しました。

自営会の保護施設は、自立更生ができてきそうにない人達を一定期間（三カ月から六カ月以内）保護し、社会復帰を助け、再犯防止するという役割を担っているとの事です。施設職員は施設長他数名にて運営し、特に薬物専門職員、生活指導員が常駐しています。又、生活基盤の提供、宿泊場所、食事等の提供、さらに円滑に社会復帰の為の日常生活指導をし、地域社会の一員となる様な指導もあるとの事でした。就労支援や金銭管理の指導もして入寮者が早



【熊本地震後に復旧された「熊本刑務所」への研修視察】

く独り立ちをし、退所後も維持しているような援助を行っているそうです。施設長が元保護観察官であり鹿児島保護観察所等を歴任し、入寮者二十名程を更生に向け尽力されている姿に感銘を受けました。

次の研修先は熊本刑務所です。六年前に訪問した時より管理棟が新築（二年前）されており、街中の刑務所とは思えないような佇まいになっています。

收容部分は前回訪問時と変更は無く、築五十年位経過している為、順次建て替えの計画との事でした。ここは受刑者が無期懲役刑を含む、刑期が十年以上の犯罪者が收容され受刑者の高齢化も進んでいるとの事で亡くなくても引き取り手の無い人も居り、職員で葬儀を出しているとの事でした。又、社会復帰支援として職業支援、技能を身に付け促進する事を目的として制作、販売まで手掛けて居りました。

案内の中で感じた事は、通常は月曜日から土曜日まで作業があるが、休祭日、特に長期休日の際には部屋から出る事も出来ず、中に一人で居たり、三人位で居たりと、この事も心情的には長期になると大変な負担があるのかなと思いましたが、でも、それだけの重罪を犯した事を忘れてはいけないと思いました。

今回の研修視察で、自営会・刑務所と初めて視察訪問し、ショックを受けられた方も居りました。しかし思う事は、我々保護司は、刑を終えて出所後に、一日でも早い社会復帰、更生が出来る様に支援が出来ればという一言に尽きると思います。意義ある研修に参加し、研鑽出来た事に感謝致します。



「地域を編む」

志布志町更生保護女性会

会長 小辻 美江子



「地域を編む」この言葉は、日本更生保護女性連盟理事長の、千葉景子様の講話の一部で『堅い絆、あんまり堅すぎると息苦しい、穏やかにした方がいい。地域の中でも聞いたことを膨らませたり、重ね合わせた、編んでみたけど、うまくいかず、ほじめてみた。それでもいいと言われ、「更女ってだれ」と言われたら「更女って私」と言う。』と、ユーモアたっぷりに話されたことが印象的でした。

先月、九州地方更生保護女性大会に参加し、地域関係団体との連携・協働して行う活動についての研究協議があり、活動するのに主催者はどこであっても参加して一緒に活動することが大事であり、地域においては人や団体と連携することでシナジーとなり、一人ひとりが人として尊重され、心豊かに生きられる明るい社会を築くことができる。私たちの活動の中にもあることを学びました。

来られた活動をこれから生かし、継続していきたいと思っています。会員の高齢化も進む思うように活動できない状況もありますが、コロナ禍が収束し、少しずつ活動する元気が戻って来ました。毎年行われる「社会を明るくする運動」の月間には保護司の方と一緒に学校訪問をし、志布志市内の小、中学校七校に会員手作り雑巾を配布しています。今年も百八十枚の雑巾を配布し、美化活動に力を入れてもらい、また心も磨いて欲しい気持ちで届けます。ボランティア連絡協議会の二十団体の中に入り、子育てサロンの始め、学童でのお話し会、こども食堂の手伝いや、郷土料理を子供たちと一緒に作り、ふるさとの味を忘れないように、そして地域で生き生きと暮らせることを願って、これからも会員と共に出来る活動を続けていきたいと思っています。

（「シナジー」相互作用・共同作用）

【郷土料理作り】



【読み聞かせの様子】



曾於保護区保護司会員名(2025年2月1日現在)

退任保護司【山下一郎様】お疲れさまでした。
【永山良一様】お悔やみ申し上げます。

◎は、 新任保護司	財部地区(7)					末吉地区(11)										大隅地区(7)						曾於市支部				
	竹之下和恵	大河原主税	豊田久生	服部兼延	◎亀元美代子	堀内孝志	原村正憲	◎川畑良久	高橋真紀子	徳地正茂	迫将嗣	大迫松雄	末永次明	山下幸次	熊田順正	大津亮二	須田郁子	松永安雄	立山泰子	高田悟	前野廣志	中根賢誠	高松則雄	平島義仁	檜原誠	
大崎地区(6)					松山地区(3)		有明地区(7)							志布志地区(11)								志布志支部				
中倉広文	日高智	神野道弘	古賀博美	西北とも子	児玉正治	隈元浩二	溝口敏久	松原治美	◎留中あゆみ	野村幸史	篠原治之	大口真由美	藤井浩子	森重晃一	立平利男	益田裕子	閨野節子	玉垣大二郎	後藤康子	門岡秀明	野邊孝蔵	坪田則義	西村正弘	上村裕治	山裾律子	下平晴行

「曾於更生保護サポートセンター」の紹介

《サポートセンターはこのような活動をするところ！》

- ◎保護司による保護観察対象者との面接
- ◎地域住民からの犯罪や非行防止等に関する相談窓口
- ◎協力雇用主等更生保護を支える人たちとの連携・協力
- ◎保護司会員の研修や会議などの実施
- ◎地域住民に対する更生保護活動の情報提供

更生保護・犯罪予防・犯罪被害者支援活動などの面談や相談を受けています。

〒899-7601 志布志市松山町新橋268番地 ☎(fax 兼用) 099-487-3280
(志布志市役所松山支所 多目的集会施設3F) E-mail: Soosaposen@btvm.ne.jp

人はみな、
生かされて
生きてゆく。



月曜日から金曜日まで
(祝日・年末年始を除く)
午前10時～午後4時迄
お気軽にご相談ください。

<総務部会で話し合い中>



＝編集後記＝ 定着してきたグラウンドゴルフ大会をはじめ、協力雇用主会など更生保護は、保護司会や更生保護女性会だけでなく、関係機関や地域の皆さん方と共に進めることが大事であると実感した一年でした。今後、社会貢献活動など課題もありますが、「地域の子カラ」を信じて活動していきたいものです。